

学習障害(ディスレクシア)のある子供への支援

一人一人の実態に合わせた支援を!!

クラスにこんな子供はいませんか?



文中の言葉や行を抜かして読む

単語や文節を不自然なところで区切って読む

文末を自分の好きなように変えて読む

読み

書き

ひらがな・カタカナ・漢字が定着しない

よく似た漢字を間違える

鏡文字を書く

漢字で偏と旁を逆に書く

字形が整わない

英語のつづりが覚えられない

黒板の字を写すのに時間がかかる

提供

合理的配慮

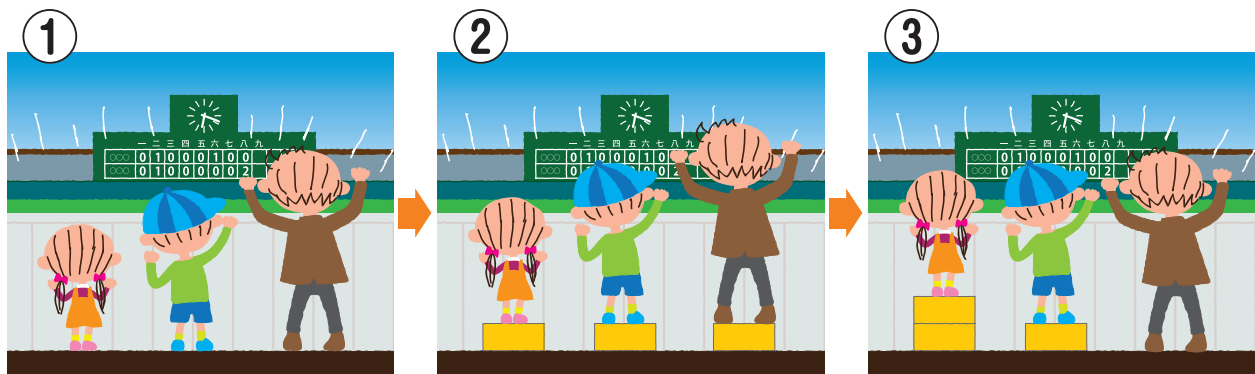
合理的配慮の提供が必要です。

■合理的配慮とは!?

障害のある子供が、他の子供と平等に教育を受けられるよう、必要な変更・調整を行うことであり、一人一人の子供に対し、その障害の状況に応じて必要とされるものです。

「障害者差別解消法」においては、公立学校では合理的配慮の提供が義務となっています。

合理的配慮について、 野球観戦を例にイメージしてみましょう。



① 3人で野球観戦をしています。しかし、塀があるために左の2人は観ることができません。

② この球場にはブロックが用意されていました。一人に一つずつ分けましたが、左の女の子はまだ観ることができません。

③ 今度は一人一人に必要な数のブロックを置きなおしました。これでみんなが観ることができますね。このブロックの置き方が合理的配慮のイメージです。

次の項目に沿って、それぞれの子供が必要とする合理的配慮を考えていきましょう。

教育内容・教育方法

- 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮
- 学習内容の変更・調整
- 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
- 学習機会や体験の確保
- 心理面・健康面の配慮

支援体制

- 専門性のある指導體制の整備
- 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮
- 災害時等の支援体制の整備

施設・設備

- 校内環境のバリアフリー化
- 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮
- 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

ここでは、
ディスレクシアの教育内容・教育方法について説明します。

学習障害のある子どもの
合理的配慮については

LD 合理的配慮



「LDのある子どもの合理的配慮」(発達障害教育推進センター)
掲載先 URL : http://icedd.nise.go.jp/?page_id=1451

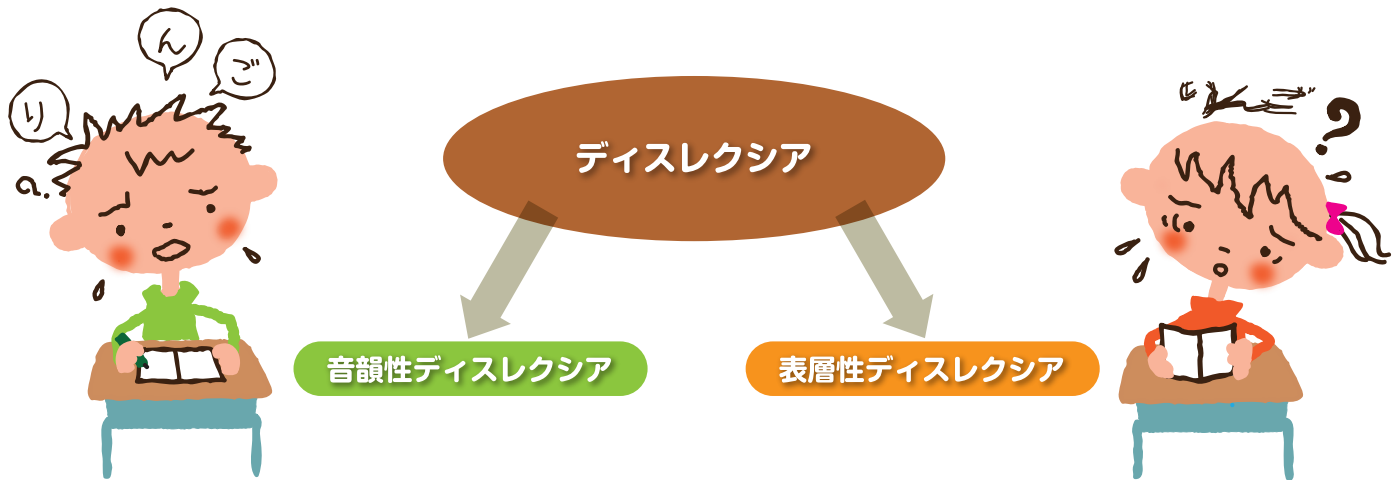
学習障害(ディスレクシア)って何!?

■学習障害

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。(文科省HPより一部抜粋)

■ディスレクシア

ディスレクシアとは、会話は普通にでき、知的にも標準域にありながら、文字情報の処理(読み書き)がうまくいかない状態を指す。(一般社団法人 日本ディスレクシア協会 HP より)



音韻性ディスレクシアとは!?

主に「音韻処理」が苦手なディスレクシアです。語彙や言葉の意味が理解できていないことが関係しており、下学年からの学び直しをする必要があります。

表層性ディスレクシアとは!?

主に「視覚処理」が苦手なディスレクシアです。視覚処理が難しく、目から入る情報を調整し工夫する支援や、生活面・健康面の課題を改善する必要があります。

- 文字と音を結びつけること
- 読みから意味を想起すること

苦手

- 文字の形を認知すること

りんご

り ん ご

一文字一文字は読めるが、「りんご」というまとまりの言葉として理解できない。

音韻処理が苦手

りんご

り ん ご りんご

文字がゆがんで見えたり、二重に見えたりするなど、文字の形が認知できない。

視覚処理が苦手

音韻性ディスレクシアの子供に提供する合理的配慮の提案

実態に合わせた学び直しをする必要があります。

①文字と音がスムーズに繋がるようにする。

例えば「あ」というひらがなを見たら、それが「あ」という音であることがわかり、「あ」という音がスムーズに出てくるような練習をする。



自動車



②文字をまとめて単語として読めるようにする。

ひらがなを並べて単語にし、読み方だけでなく、意味や視覚的なイメージなどを一緒に覚えていく。

文字を単語として認識でき、読める単語が増えていくことにより、少しずつ読めるようになっていきます。学習内容の定着に時間がかかるお子さんも多いです。地道に一つずつ、反復回数を増やしたり、量を調節したりしながら、読める単語を増やしていくことが大切になります。

③読みやすくする工夫や支援を行う。

- ・文字の拡大
- ・行間をあける
- ・助詞や接続詞に色を付ける
- ・読み上げ

スラッシュ

行間を空ける

見やすい書体に

ルビ振り

このままだとこの意味合いを持ってしまつので

どようび

行く／予定／です。

どようび

土曜日／には／医者に

どようびにはいしやにいくよていす。



④書き負担を軽減する。

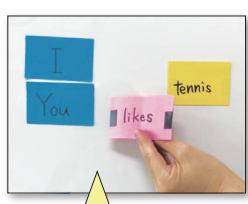
- (ICTの活用)
- ・板書投影
 - ・ワープロ入力

読むことが苦手な子に対する合理的配慮

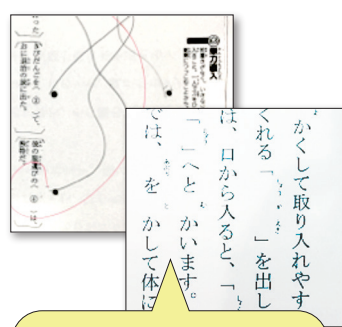


文字を少なくし、漫画やイラストを多用した教材

書くことが苦手な子に対する合理的配慮



ホワイトボードの活用



穴埋めや、線で結ぶ形式のプリントの活用

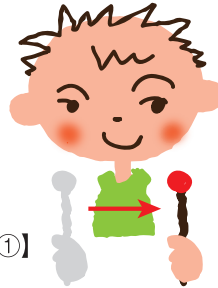
表層性ディスレクシアの子供に提供する合理的配慮の提案

トレーニングや教材教具の工夫などで、
読んだり書いたりすることがしやすくなります。

①目の使い方を練習することで「見る力」がついてくる。

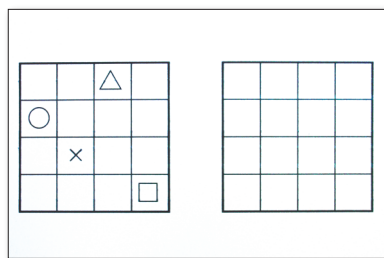
○眼球運動トレーニング

- ・目で追うトレーニング 【資料①】
- ・視線を移動させるトレーニング
- ・焦点を合わせるトレーニング



○視空間認知トレーニング

- ・点つなぎ
- ・位置の見本合わせ 【資料②】
- ・タングラム (図形パズル)



○ボディイメージのトレーニング

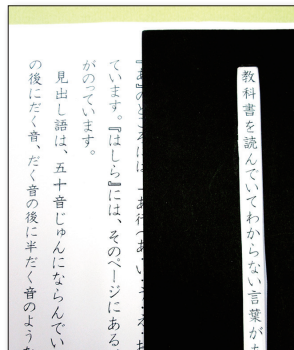
- ・(上・下) (左・右) (前・後) の言葉に合わせて体を動かす 【資料③】



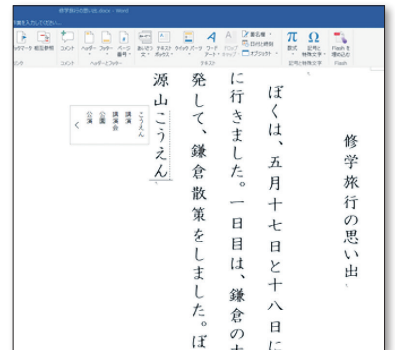
②教材や教具を工夫することで、学習に取り組みやすくなる。

○見えやすくする工夫

- ・文字の拡大
- ・見やすいフォントの使用
- ・行間を開ける
- ・文節ごとに区切りを入れる
- ・助詞や接続詞に印や色を付ける
- ・リーディングスリットの使用 【資料④】



【資料④】



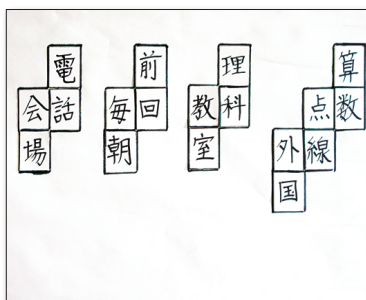
【資料⑤】

○書きやすくする工夫

- ・マス目が大きいノート、行間が広いノートの使用
- ・穴埋めプリント教材の使用
- ・パソコンなどの使用 【資料⑥】
- ・書き写す物を手元に置く支援

③ゲーム的な教材を使用することで、 楽しみながら漢字を学ぶことができる。

- ・熟語を作るゲーム 【資料⑥】
- ・部首から漢字を組み合わせるゲーム 【資料⑦】
- ・漢字ゲームアプリ



【資料⑥】



【資料⑦】

音韻性・表層性ディスレクシア どちらにも共通した合理的配慮の提案

まずは、心と体を元気にしましょう。

実は、
ディスレクシアにとって、
この視点はとても大事です！

① ストレスをためさせない。

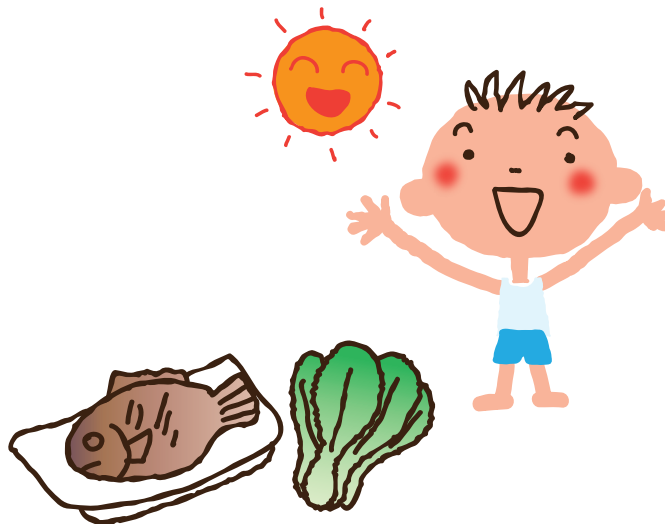
- ・ 感覚過敏への配慮をする。
- ・ 対人過敏への配慮をする。
- ・ 適度な休憩をとる。

② 家庭での生活リズムを整える。

- ・ 睡眠を十分とる。
- ・ 寝る前のゲームは控える。

③ 食生活を改善する。

- ・ 穀物を少なくし、肉や魚、野菜を多くする。



精神面や健康面での課題をクリアしたら、
学習課題に取り組みましょう。

【読み】

- 分かち書き、区切りを入れる 言葉をかたまりでとらえることがスムーズになる。
- 読み聞かせ、音声読み上げソフト「デイジー教科書」
. 内容を事前にイメージしてから読むことができる。

【書き】

- マス目が大きいノート、行間が広いノートの使用 字形を整えて文字を書くことができる。
- 穴埋めプリント教材の使用 書く量を軽減できる。
- キーワードメモ、ウェビングの使用 自分の考えを分かりやすくまとめることができる。
- デジカメ、iPad、パソコンの使用 書き写す物を写真に撮り活用できる。
キーボードで入力することで、分からない漢字を確認したり、書く負担を軽減したりすることができる。

子供が抱えている困難さを明らかにして、一人一人に合った合理的配慮を提供し、子供たちが楽しみながら一歩ずつ着実に学習できるように支援していきましょう。

本リーフレットは「学校における『合理的配慮』の提供の充実に関する研究」に基づき作成しました。

山梨県総合教育センター
相談支援部 特別支援教育担当

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456 番地 TEL 055-263-4606